

2023（令和5）年度版
宇部市の施策について（要望）

宇部商工会議所

2023（令和5）年度版 宇部市の施策について（要望）

I. 社会全般

< 1. 中小企業のカーボンニュートラル化の取組支援 >

脱炭素社会の実現にむけて、大企業は各自で目標年度を設定して削減計画を作成しておりますが、中小企業については、その取り組みが殆ど進んでいないのが現状です。宇部市としてのCO2削減は、大企業に依存する割合が高いと存じておりますが、カーボンニュートラル化は企業規模の大小問わずに全事業者で取り組まなければならない課題と捉えております。

つきましては、中小企業のCO2削減計画の策定に当たっての補助を含めた支援策の設置をご検討くださいますようお願いいたします。

< 2. 選挙における投票率向上の取組について >

選挙権については、18歳以上に引き下げられものの、投票率低落傾向への歯止めがかからない状況です。身近な直近の宇部市議会議員選挙においてもこの傾向は同様で、投票率は40%を下回る結果となっております。原因は、議員報酬の低さもあり、議員の成り手が少なく、必然的に人材が集まらないことが挙げられます。そのため、議員間の競争が乏しく、選挙そのものへの興味や関心の薄さを招いていると考えられます。

つきましては、一般市民の政治への関心を向上させるための抜本的な対策についてご検討くださいますようお願いいたします。

< 3. 地域住民向け電子マネーサービスの取組について >

デジタル技術が急速に発展する中、デジタルは地方の社会課題を解決する鍵であり、地方で新たな価値を生み出す源泉となり得ます。ご高承のとおり、現在、国が推し進める「デジタル田園都市国家構想」は、地域の社会課題の解決と魅力の向上を実現する重要な政策の一つで、デジタル技術を活用することで、地域の個性を活かしながら、地域の活性化を加速することが可能となります。

当所では、宇部市プレミアム付商品券事業を2年連続で事務を受託させていただきましたが、近年、参加店や商品券を購入される市民の方から商品券のデジタル化を希望される声が多くなってきています。当所が実施した『令和4年度宇部市プレミアム付商品券市民向けアンケート』では、商品券を購入された市民の方がデジタル版商品券を「利用したくない」と回答した理由として、「キャッシュレス決済の使い方がわからない(22.76%)」、「キャッシュレス決済を使ったことがない(22.17%)」が上位を占めていましたが、一方、経済的な理由等で「クレジットカード等を持っていない(12.6%)」「スマートフォンを持っていない(10.84%)」と回答された方も相当数おられました。即ち、商品券のデジタル化を実施するにあたり、不利益を被られる市民の方が相当数おられたこととなります。

しかし、現在、地域住民向け電子マネーサービスも以前よりはかなり進化し、利用者がスマホを利用せずにキャッシュレス利用を行うことが可能となっております。地域住民向け電子マネーサービスを当市で導入し、まずは、ボランティア活動に従事していただいた市民の方へのポイント付与などを行えば、市民にとって便益が高く、効果的・効率的な行政サービスを実現することが可能となります。

つきましては、貴市においても既に検討はされておられると思いますが、当市における地域住民向け電子マネーサービスの実現に向けて是非ともご検討をお願いいたします。

II. 物価高騰等対策

<継続・変更>

(1) 本年5月に新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、様々な活動が活発となり、地域活性化が期待できるところであります。しかしながら、ご高承のとおり、原油価格等の高騰や為替相場の急激な変動等により、資材価格や燃料費の高騰が続いております。市内中小企業者は、価格転嫁や費用管理の強化などの対応をしておりますが、費用負担増加による資金繰りの悪化などを招いております。

つきましては、物価高騰等に対する支援策の継続と拡充をご検討くださいますようお願いいたします。

- ①中小企業者等エネルギー価格高騰緊急対策補助金の継続
- ②同補助金の補助対象期間の伸長と補助限度額の増加

III. 中小企業支援施策

<新規>

(1) 本年夏より、新型コロナウイルス関連の特例融資の返済が本格化しておりますが、返済猶予期間内に事業再構築ができておらず、資金繰りの改善が急務となっている中小企業者は少なくありません。現状のままでは、廃業を余儀なくされる事業者が増加し、宇部市の産業全体が縮小する恐れがあります。

つきましては、市内中小企業者の事業再構築に向けて、資金繰り改善を支援するため下記事項についてご検討くださいますようお願いいたします。

- ①山口県中小企業活性化協議会の経営改善計画策定事業における事業所自己負担部分（全費用の三分の一）に対する補助金の設置
- ②コロナ関連融資に対する宇部市独自の利子補給及び保証料補助制度の設置

<継続・変更>

(2) 宇部商工会議所では、貴市と共同で作成した「経営発達支援計画」に基づき、市内小規模事業者の伴走型経営支援を推進しております。事業推進にあたり、貴市から多大なるご協力を賜っておりますことを、改め御礼申し上げます。経営支援の現場では、貴市をはじめ、山口県や国が展開する支援施策の周知及び活用支援、各種事業者支援事業に取り組んでおりますが、個別具体的な経営課題解決のためには、経営指導員等の専門人材の確保が不可欠です。

つきましては、当所に交付いただいております「宇部市中小企業振興補助金」の継続と更なる増額、また、人件費補助等の補助対象経費の拡充をご検討くださいますようお願いいたします。

IV. デジタル化・DX化

<新規>

(1) ご高承のとおり、我が国ではデジタル社会の実現に向けて、様々施策が展開されております。しかしながら、中小企業者のデジタル化・DX化の取り組みは進んでおらず、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施した「中小企業のDX推進に関する調査」においても、調査対象企業1,000者のうち、既にDX化取り組んでいるとの回答者は7.9%と非常に低い現状があります。地方中小企業者においては、労働人口減少や人手不足に対応するために、デジタル化・DX化といったITツール・サービスを活用した生産性向上が特に必要で重要な経営課題となっておりますが、デジタイゼーションも十分に進んでいないのが現状です。

つきましては、市内中小企業者のデジタル化・DX化を推進するために、環境整備や動機付けを行うため下記事項についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

- ①うべ中小企業等DX研究会の継続
- ②宇部市中小企業等DX推進事業費補助金（デジタル化枠・DXモデル枠）の継続並び予算総額の増加
- ③デジタル人材育成費用に対する補助金制度の設置
- ④ホームページ作成及びリニューアル等のIT化を支援する補助金制度の設置

V. 雇用・労働

<新規>

(1) 本年、日本商工会議所が実施いたしました「人手不足の状況および多様な人材の活躍等に関する調査」において、回答企業数3,120者のうち68.0%が人手不足と回答しており、2015年の調査開始以来過去最大の比率を示していることから、中小企業の人手不足問題が深刻化していることが窺えます。特に地方都市では、学生や若者の市外・県外流出も激しく、人材確保も困難で一層厳しさが増している状況です。

また、景気動向に関しては明るい兆しもあるものの、人手不足が原因で事業拡大に取り組めない中小企業も少なくありません。加えて、製造業や建設業に関しては、人材に専門性が求められていることもあり、人手不足問題は自社事業の高付加価値化や社会インフラの整備を妨げる要因にもつながります。

つきましては、学生や若者の地元での就業機会創出に向けて下記事項についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

- ①地元企業への就業体験機会の増加
- ②地元学生に対する建設人材の教育及び建設業の魅力発信の機会の創出
- ③商工会議所と連携したものづくり人材のマッチングイベントの開催

<新規>

(2) 中小企業が抱える人材に関する課題は、人材確保だけではなく「人材の定着」についても重要な課題です。賃上げの推進や福利厚生制度の充実、労働環境の向上など、人材定着を図るための様々な取り組みが考えられますが、物価等高騰の影響と価格転嫁が困難な状況から打ち手が限られているのが現状です。

他市では、大卒者などの採用と定着のために、従業者が負う奨学金を雇用者が直接支払い

する際に、行政がその金額に対する補助制度が設けられております。

つきましては、市内中小企業者への人材定着を促進するため、雇用者による奨学金返済負担に対する補助制度の設置についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

VI. 港湾

<継続・追加>

(1) 宇部港の各埠頭・岸壁及び港湾施設の整備、民間企業による運営費の補助など、従来より貴市から山口県に対してお願いいただき誠にありがとうございます。下記事項を次回の「県知事要望事項」に新たに追加して要望いたしますので、引き続き要望事項の実施に向けて貴市からもご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ①公共岸壁前面水域の浚渫の実施
- ②公共岸壁（沖の山、芝中西埠頭）の防舷材及び路盤補修の実施
- ③芝中西埠頭の未使用後背地舗装及びタイヤマウントクレーンの更新の実施

なお、港湾関連の要望事項は、老朽化による安全性・効率性の低下に起因するものがほとんどであります。また、年々要望事項も増加しており、宇部港湾施設等の整備の遅れが顕著であることを示しております。このことも含め、貴市からも強いご支援をいただきますようお願い申し上げます。

(2) ご高承のとおり物流 2024 年問題の流通業への影響は多大なものがあります。青果などは荷役作業時間が他の荷物と比較して長く、運転手の拘束時間の増加を招いております。このことから、現在主流となっている陸上輸送から海上輸送への切り替えが有効と考えられます。一方、宇部港では商業利用が進んでおらず、食料品は近隣の門司港及び下関港に着荷しております。同じく物流 2024 年問題に対応し、物流の効率化を進めるためには、中国自動車道へのアクセスが良い宇部港を利用した海上輸送への切り替えが非常に効果的であると考えます。つきましては、宇部港の活性化による地域経済への貢献を図るため、宇部港の商業利用に必要な港湾施設整備の実施について、山口県への要望をご検討くださいますようお願いいたします。

VII. 観光

<継続・追加>

(1) 宇部市には、ときわ公園、野外彫刻、小野地区の茶畑、名産スイーツなど、SNS 映えする観光資源を多く有しております。近年では、「シン・エヴァンゲリオン劇場版」や「シン・仮面ライダー」など、映画作品にちなんだエンターテインメント性のある PR ポイントも存在しております。また、プロバスケットチーム「パッツファイブ」のホーム施設である俵田体育館や拠点有するなど、魅力的なスポーツ振興の資源もあります。

一方で、これらの資源は、県内・全国の他の観光地と比較して、市内外でその観光コンテンツの魅力が発信されておらず、また、資源活用方法も不十分であると感じております。

つきましては、宇部市の観光振興をさらに推進するために、下記事項についてご検討くださいますようお願いいたします。

- ①パッツファイブを中心としたスポーツ振興による観光客誘致の取り組み
- ②野外彫刻の展示と市内の回遊性を高める観光コンテンツの開発
- ③観光資源の魅力を宇部市民に浸透させるためのインナーブランディングの実施
- ④観光資源の魅力を全国に発信するためのインフルエンサーの活用

VIII. 公共工事

<継続>

- (1) 貴市公共工事の「週休 2 日モデル工事」について、令和 4 年度に対象工事の拡充及び新築工事での実施検討などをいただき誠にありがとうございました。依然として建設業界では、労働環境の改善する取り組みが不可欠となっており、公共工事に関しては行政機関の理解と協力がなければ対応できない状況です。

山口県発注工事では、「週休 2 日工事発注者指定型」は請負対象設計額 5,000 万円以上の全ての工事、「週休 2 日工事受注者希望型」は請負金額に関係なく落札者が希望すれば週休 2 日工事に移行できることとなっております。

つきましては、市内建設業の労働環境改善を実現するために、週休 2 日工事の要件を山口県発注工事と同様に拡充していただくよう、ご検討お願いいたします。

- (2) 貴市発注の舗装工事は、経営審査事項の等級及び舗装工事の金額に関わらず全ての事業者が一般競争入札に参加できるため、入札参加業者は年々増加傾向にあります。また、電子くじによる落札となっており、20 社以上の中から電子くじで落札業者が決定することになり、他の公共工事の業者決定方法と比較すると違和感がございます。

つきましては、舗装工事の入札資格についても、土一式や建築一式と同様に等級を設置して請負対象設計額による区分発注の実施をご検討下さいますようお願いいたします。

以上